授業科目　遺伝学と保健医療

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	看護
藤原　直士	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○				

【概要・一般目標：GIO】

遺伝学のあゆみを概観し、遺伝情報を担う物質基盤、ヒトの遺伝のメカニズムと遺伝子病、生命科学における遺伝子技術等についての基本事項を理解する。それらを通じて、遺伝医学の保健医療における現代的意義を考察するとともに、人間に対する理解を深める。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．遺伝学とは何か、また、遺伝学のあゆみを知る。
2．遺伝情報を担う分子である、DNA や RNA について、その役割を理解する。
3．遺伝子の担体である染色体の構造と染色体異常について理解する。
4．ヒトの遺伝における、メンデル遺伝と非メンデル遺伝、優性遺伝と劣性遺伝などについて理解する。
5．メンデル遺伝病発症の一般原則を対立遺伝子の成り立ちから理解する。
6．分子レベルでの遺伝子解析、遺伝子操作など、生命科学における遺伝子技術ついての基本的事項を理解する。
7．遺伝子診断、遺伝子治療の基本を知り、遺伝子工学の医療への応用について生命倫理面から考察する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	遺伝に関する科学と遺伝学のあゆみ		講義
2	遺伝情報と遺伝子		講義
3	遺伝子の担体としての染色体		講義
4	ヒトの遺伝と遺伝子病（１）		講義
5	ヒトの遺伝と遺伝子病（２）		講義
6	遺伝のライフサイエンス　－遺伝子技術－		講義
7	遺伝医学の展開と保健医療		講義
8	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	遺伝医学への招待	新川詔夫、阿部京子	南江堂	2005・1,800 円
その他の資料	講義資料プリントも配布する。			

【評価方法】

期末試験の成績によって評価する。

【履修上の留意点】